

「子どもの姿で語る協議会を目指して」

～学校全体の授業力向上のために～

桜岡小学校全体の授業力向上のためには、教師の「子どもを見る目」を鍛えることが重要です。そのための授業研究会の在り方について、PDCAサイクルという視点でまとめました。

P

学習指導案検討

①学習指導案の検討会では、**目標を達成した子どもの姿**を明らかにし、**学校全体で共有**することが重要です。そのためには、「学習指導要領解説」をもとに**指導事項を的確に捉える**ことが重要です。また、指導事項に照らし合わせ、評価規準や評価場面、評価方法といった見取りの視点を共通理解することも大切です。そうすることで、授業研究会の協議の深まりにもつながります。



参観者

どんな姿が、「目標を達成した姿」と言えるのですか。

～～という姿が見られれば目標達成です。学習指導要領解説の〇ページに、～について～と書かれているからです。



授業者

D

研究授業

②研究授業では、授業者も参観者も、目標の達成に向かう子どもの**学びのプロセスを見取る**ことが大切です。そのために、授業者も参観者も、「何を」「何から」見取るのかを常に意識しましょう。

「何を」見取るのか

- ・どのように考えているのか
- ・何がきっかけで変容したのか
- ・何に気付いているのか
(気付いていないのか)
- ・どこで(何に)つまづいているのか

「何から」見取るのか

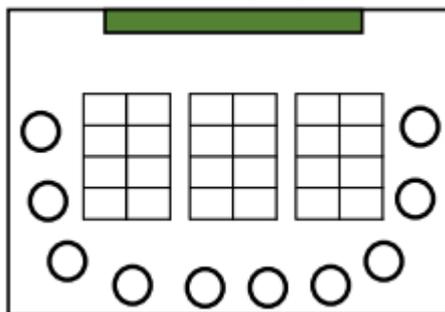
- ・子どもの表情や学ぶ姿勢
- ・子どものしぐさ
(視線、挙手の様子 等)
- ・子どもの発言やつぶやき
- ・ノートやワークシートの表現 等



参観者



授業者



〇〇さんの考えは座席表にメモしよう…
全体の場で指名しよう…



参観者

目標を達成した姿が見られるかな。
どの子どもの様子を中心にしようかな。

私は、担当の子ども(グループ)の学びが見取りやすい場所で参観しよう。

どの子ども(グループ)の学びを見取るかをあらかじめ決めておき、それぞれの学びを集中的に見取ることも考えられます。目的に応じて工夫しましょう。



③授業研究会では、**子どもの実際の姿**から、目的の達成とその要因について協議することが大切です。また、協議を通して、授業者も参観者も、「子どもを見る目」が鍛えられ、授業力向上にもつながります。

参観者

〇〇さんは、グループ学習で自分の考えを変えていました。□□さんの〜の考え方の良さに気付いたからだと思います。

授業者

〜という姿が見られたので、本時の目標は達成できたと思います。

先生の「〜」という発問がきっかけで、〇〇さんの表情が意欲的な表情に変わり、〜の叙述に着目して、作者の意図を読み取ろうとし始めていました。

参観者

④研究授業・授業研究会を通して得た「子どもを見る目」を生かして、日常の授業でも子どもの学びを**見取り**、指導や評価に生かしていきましょう。その積み重ねが、**目標達成にこだわった授業改善**につながります。

参観者

子どもたちの表情に着目して見ると、子どもたちがどこでつまづいているのかがわかるようになりました。

授業者

グループ学習の際に、だれがどのような考えを持っているのかを見取ることで、苦手だった全体学習でのコーディネートがうまくできるようになりました。

メンターの校内研修で、授業の記録ビデオを活用して、見取りを生かした指導や評価について研修してみましょう。

参観者

